

# 新年のご挨拶



代表理事組合長 山内 敏

明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また平素より農協運営にご支援を賜わり、ここに深く感謝を申し上げます。

昨年は、自然災害に振り回された大変な一年でありました。五月以降毎月のように低温、日照不足そして台風の影響と、大切に育てた米やりんご、野菜などの防御対策にご苦労なされた皆様に心から労いの声を届けたいと思います。皆様の懸命の努力の結果、りんごの黒星病もどうにか最小限に止めることができました。台風による落果や枝擦れ果は半年を上回り、悔いが残りました。また米についても品種にかかわらず、10アール当たり一俵程減少となり所得減につながった事は残念でなりません。野菜ではトマト、ミニトマトは、ハウス栽培により、天候のよし悪しを受けにくく、全国的な猛暑により他産地の出荷量減にも助けられ、高単価で推移し、販売高の増となりました。ニンニク、アスパラガスなど地域特産物も健闘しており、今後の面積拡大に向け、支援してまいります。

さて、農協を取り巻く環境は、最近激変しております。「TPP11」協定が昨年末に発行し、日本は農産物の約82%で関税撤廃となる他、EUのEPA、米国との二国間交渉も同様の厳しい交渉になると報道されています。

また国内においては、安倍首相の諮問機

関である規制改革推進会議により米の「国による生産目標の配分廃止」、「中央会制度の廃止」など次々と進められています。さらには「JA准組合員の事業利用規制」を始めたとする農協改革など、農協が本来持っている「自主、自立と民主的運営の基本に立つJAの健全経営」に水を差すものと考えざるを得ないのであります。

先月から当JAでは、「JAの自己改革に関する組合員アンケート」を正・准組合員にお配りし、回答いただくことになっております。地域農業の振興や地域づくりに積極的に関わっていく姿勢を示すために、JA自身が変わる為のアンケートとご理解をお願いいたします。

また、少子高齢化が進み、特に農業においては人手不足が現実化しています。稲作では、規模拡大しようにも作業員不足が深刻と聞いており、りんごにおいても摘果、葉取、収穫作業など人手でなければできない作業も多く、同様に人手不足が年々進んでおり現場で大きな問題となっています。解決していくには困難を伴いますが、無人化、機械化を積極的に進め、スマート農業に変換していくべきと考えます。当JAでも指導員には更なる研修を積ませ、地域の将来を担う若手農業者にも国内外に研修させ、地域に必要な農業経営者として育成していくことが急務と考えております。我々農家は数々の困難を英知と協同と努力で乗り越えてきました。皆様と共にみらいに向かつて頑張ります。

新しい年が組合員の皆様の御多幸と希望あふれる年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

会長 理事

阿保直延

代表理事 専務

山内敏

(総務管理担当)

成田清行

(販売担当)

村上勝憲

(代表理事 常務)

佐藤佳克

(営業購買担当)

佐藤佳克

(代表理事 常務)

村上市憲

(信用担当 専任)

川口悦義

理事

川口悦義

理事

長田純久

理事

成田純久

理事

内藤智章

理事

相馬重一

理事

大川栄紀

理事

福原一博

理事

加藤和夫

理事

村岡嘉夫

理事

佐藤秀長

理事

工藤友美

理事

野宮正美

理事

葛原慶仁

理事

相馬由美子

代理 代表 監事

中村恵子

代表 監事

大川幸次

監事

三川博征

監事

芳賀美幸

監事

樋口哲幸

監事

山平貴司

常勤 監事

山平貴司

(員外 監事)

兼藤俊一

参事

他職員一同